



# インターネット授業で内容を公開する大学は教育力に自信がある

小原克博 同志社大学教授  
KOHARA Katsubiro

**なぜ** パソコンを使うのでしょうか。パソコンを使うと何がかわるのでしょか。学生の本業は勉強です。それに関連させて考えてみましょう。

昔から、それぞれの専門分野で知識を得し考察を深めるためには、図書館で本を探して、あるいは研究室で実験をして、これらから得た情報を自分の思考の中で整理・展開して、レポートや論文を書き記してきました。この基本スタイルは今も大きく変わるものではありません。つまり、適切なインプットがあってはじめて実りあるアウトプットが得られるわけです。

コンピューターは、このプロセスを効率化したり、精緻化してくれるツールです。インターネットを使えば、大学図書館にある蔵書は言うまでもなく、世界中の情報にアクセスすることができます。また、得られた情報をデータベース化しておけば、紙媒体ではとっていきえないような検索能力を発揮することもできます。ワープロソフトはもはや単純な文字入力のためのソフトではなく、広い意味で文章作成支援のための機能を備えています。

## 無線LANの整備によってキャンパス内どこでも接続可能

わたしたち一人ひとりの頭脳をとりかえることはできません。しかし、パソコンやインターネットは人の頭脳を補助し、潜在

的な能力を引き出し、より豊かなアウトプットを得る手助けをしてくれるのであり、そこに最大の魅力があると言えます。

このようなインプットとアウトプットを手助けしてくれるIT環境を、大学はどのように整備しているのでしょうか。

IT環境を評価するためには、まず、ハード面をみることです。これまで、学生1人あたりのパソコン設置台数、LAN接続台数などが重要な基準とされてきました。これらは客観的な数字なので、評価基準としては一定の意味を持ちます。こうした数字が極端に悪い大学は、IT環境が十分でないとい評価されても仕方ありません。

ただし、パソコンがたくさんあることが、そのままIT環境の質を保証してくれるわけではありません。かつては、学生数に対しパソコン台数が不足気味でしたが、近年は、パソコンメールよりも携帯メールの利用のほうが圧倒的に利用頻度が高くなり、結果としてパソコンの稼働率が安定してきている、という現象が見られます。その意味でも、パソコンの台数だけを問題にすべきではありません。

たとえば、無線LANの環境が整備されているかどうかは、IT環境のハードパワーをはかる上で、新しい評価基準になり得るでしょう。ノートパソコンを所有している場合、それをキャンパス内のどこにいてもインターネットに接続して利用できるというのは、大きなアドバンテージになるからで



## IT環境(パソコン設置)

### 学生1人あたりパソコン設置台数

大学	台	大学	台	大学	台
1 千里金蘭大	5.81	35 高知工科大	1.24	71 高松大	0.85
2 関西医科大	4.72	豊田工業大	1.24	名古屋産業大	0.85
3 東京慈恵会医科大	4.18	38 新潟大	1.20	武蔵工業大	0.85
4 長岡技術科学大	2.88	名古屋学院大	1.20	74 岡山理科大	0.83
5 聖泉大	2.86	40 山梨大	1.16	75 尚絅学院大	0.82
6 鳴門教育大	2.61	足利工業大	1.16	76 上越教育大	0.81
7 豊橋技術科学大	2.47	42 群馬大	1.15	豊橋創造大	0.81
8 東京工業大	2.38	神戸商船大	1.15	78 宮城教育大	0.80
金沢医科大	2.38	室蘭工業大	1.15	山形大	0.80
10 大分医科大	2.18	45 鹿児島大	1.14	80 松本歯科大	0.79
11 佐賀医科大	2.13	熊本大	1.14	81 福島学院大	0.75
12 東京大	2.03	47 多摩大	1.12	82 静岡大	0.74
13 名古屋芸大	1.92	48 神戸大	1.11	83 奈良教育大	0.73
14 兵庫教育大	1.90	49 新潟県立看護大	1.10	84 秋田県立大	0.72
15 神奈川県立保健福祉大	1.89	50 江戸川大	1.09	びわこ成蹊スポーツ大	0.72
16 名古屋商科大	1.84	静岡理工科大	1.09	86 東京工芸大	0.70
17 島根医科大	1.66	52 広島大	1.07	87 愛知医科大	0.69
岡山学院大	1.66	53 山陽学園大	1.06	88 一橋大	0.68
19 九州芸術工科大	1.63	54 福岡歯科大	1.04	大阪工業大	0.68
20 静岡英和学院大	1.61	松本大	1.04	中部大	0.68
21 京都府立医科大	1.58	56 長浜バイオ大	1.03	北海道東海大	0.68
22 会津大	1.57	57 奈良女子大	1.01	92 青森県立保健大	0.67
23 富山県立大	1.56	58 福井大	1.00	93 千歳科学技術大	0.66
清泉女学院大	1.56	59 千葉大	0.99	94 岩手大	0.65
大成学院大	1.56	60 旭川医科大	0.97	芦屋大	0.65
26 関西鍼灸大	1.48	61 名古屋工業大	0.96	畿央大	0.65
27 熊本保健科学大	1.45	62 和歌山大	0.94	京都創成大	0.65
28 郡山女子大	1.42	広島県立大	0.94	園田学園女子大	0.65
29 湘南工科大	1.40	64 順天堂大	0.93	梅光学院大	0.65
30 稚内北星学園大	1.36	65 徳島文理大	0.92	100 東京家政学院	0.64
31 十文字学園女子大	1.33	長崎総合科学大	0.92	筑波女子大	0.64
32 東北大	1.32	67 静岡県立大	0.90	101 帯広畜産大	0.61
33 産業医科大	1.31	68 北見工業大	0.88	102 京都教育大	0.60
34 島根県立大	1.26	東京農工大	0.88	早稲田大	0.60
35 岩手県立大	1.24	広島市立大	0.88	104 佐賀大	0.59

◎—2003年。数字が明確でない回答を除いて集計した



## IT環境(LAN接続)

す。特定の教室に、ある定められた時間の間に行く必要がなくなり、キャンパス内でも、いつでも、どこでもインターネット接続できるということは、ユビキタス時代の標準環境となっていくはずで(ユビキタス=至るところに存在するという意味)。

シラバスをCD-ROMで読み、  
オンラインで科目登録

IT環境を評価するためには、次に、ソフト面を見るのが重要です。これは数値化することが難しく、見えにくいかもしれませんが、IT環境が実際に、学生生活にどのように生かされているのか、ということです。具体例をいくつかあげてみましょう。

入学すると、すぐに履修科目の登録をしなければなりません。従来は、分厚いシラバス(授業内容・計画)が渡され、希望する科目を登録用紙に記入していました。しかし、ITを活用している大学では、シラバスはCD-ROMとして配布され、科目登録はオンラインでできるようになっています。それぞれの科目に対し、前年度の「学生による授業評価」の結果をウェブ上で公開している大学もあります。

授業が始まると休講情報なども気になります。休講情報を含む掲示板の情報をパソコンだけでなく、携帯電話でチェックできるようにもなってきました。図書の貸し出し状況をオンラインでチェックできることも、今は必須の条件となりつつあります。

ところが、このようなIT環境のソフトパワーがどの程度充実しているかは、ハードパワー以上に大学間の格差があります。入学前にそれを確かめるためには、各大学のウェブサイトにある在学生向けのページを見てください。そこで、たいいていことは、わかるはずで。

単にパソコンを多数設置しているだけでなく、ハードパワーとソフトパワーを有機

的に結びつけて、学生へのサービスを向上させようとしている大学の姿を「バーチャル・ユニバーシティ」と呼ぶことができます。こうしたトータルなイメージを大学が持っているかどうか、今後、問われていくことでしょう。

バーチャル・ユニバーシティの構想の核には、授業のオンライン化があります。2001年以降、インターネットなどを使った遠隔授業も、60単位を上限として、単位取得可能な正規科目として認められています(通学制大学の場合)。慶應義塾大学や早稲田大学は、早くから、この分野に力を入れてきました。たとえば早稲田大学は、インターネット講座「現代版早稲田講義録」を生涯学習の一環に位置づけています。料金を支払えば、誰もが早稲田の先生たちの講義を聴くことができるようになっており、無料サンプルも用意されています。

また興味深いのは、比較的小規模の大学の中に、オンライン化を急速に進めているところが少なくない、ということです。帝塚山大学は独自のeラーニングシステムであるTIESを2003年から一般公開しています。大阪芸術大学は通信教育部において、総合的な学習支援システムを使用しており(体験コースあり)、芸術系大学ならではのユニークなコンテンツを備えています。また、信州大学のインターネット大学院は、すべての授業をインターネットで行う、ということで有名になりました。

インターネット授業をセールスポイントにする大学は今後増えていくことでしょう。ただし、インターネットによる授業配信を行っていても、それを単位取得可能な科目として認定しているかどうかは、大学によって異なるので注意が必要です。いずれにせよ、インターネット授業では大学の教育の質がオープンになっていくので、それを積極的に進めている大学は「教育力」に自信を持っていると言えるでしょう。

## 学生1人あたりLAN接続台数

大学	台	大学	台	大学	台
1 千里金蘭大	5.50	35 新潟大	1.20	71 宮城教育大	0.80
2 獨協医科大	4.24	36 名古屋学院大	1.20	72 上越教育大	0.79
3 関西医科大	3.51	37 山梨大	1.16	73 東京農工大	0.79
4 東京慈恵会医科大	3.27	38 神戸商船大	1.15	74 長崎総合科学大	0.77
5 聖泉大	2.86	39 室蘭工業大	1.15	75 山形大	0.75
6 長岡技術科学大	2.68	40 大阪成蹊大	1.15	76 岡山理科大	0.75
7 鳴門教育大	2.61	41 鹿児島大	1.14	77 秋田大	0.73
8 滋賀医科大	2.39	42 熊本大	1.14	78 奈良教育大	0.73
9 金沢医科大	2.38	43 産業医科大	1.12	79 びわこ成蹊スポーツ大	0.71
10 大分医科大	2.18	44 多摩大	1.12	80 松本歯科大	0.69
11 東京工業大	2.05	45 新潟県立看護大	1.10	81 一橋大	0.68
12 佐賀医科大	2.02	46 豊田工業大	1.10	82 大阪工業大	0.68
13 名古屋学芸大	1.92	47 江戸川大	1.09	83 中部大	0.68
14 兵庫教育大	1.90	48 広島大	1.07	84 青森県立保健大	0.67
15 神奈川県立保健福祉大	1.89	49 足利工業大	1.07	85 北海道東海大	0.67
16 名古屋商科大	1.84	50 山陽学園大	1.06	86 岩手大	0.65
17 岡山学院大	1.66	51 静岡理工科大	1.04	87 静岡大	0.65
18 九州芸術工科大	1.63	52 松本大	1.04	88 愛知医科大	0.65
19 京都府立医科大	1.58	53 長浜バイオ大	1.03	89 京都創成大	0.65
20 会津大	1.57	54 群馬大	0.98	90 園田学園女子大	0.65
21 島根医科大	1.56	55 名古屋工業大	0.96	91 福島学院大	0.64
22 清泉女学院大	1.56	56 福井大	0.96	92 東京家政学院	0.62
23 太成学院大	1.56	57 和歌山大	0.94	93 筑波女子大	0.62
24 東京大	1.54	58 広島県立大	0.94	94 帯広畜産大	0.61
25 熊本保健科学大	1.44	59 茨城大	0.90	95 秋田県立大	0.61
26 富山県立大	1.42	60 静岡県立大	0.90	96 京都教育大	0.60
27 郡山女子大	1.42	61 順天堂大	0.90	97 畿央大	0.60
28 湘南工科大	1.34	62 北見工業大	0.88	98 早稲田大	0.60
29 関西鍼灸大	1.30	63 千葉大	0.86	99 佐賀大	0.59
30 宮崎大	1.26	64 高松大	0.85	100 新潟国際情報大	0.58
31 島根県立大	1.26	65 武蔵工業大	0.85	101 青森中央学院大	0.57
32 岩手県立大	1.24	66 神戸大	0.83	102 千歳科学技術大	0.57
33 高知工科大	1.24	67 広島市立大	0.82	103 徳島文理大	0.57
34 稚内北星学園大	1.22	68 尚絅学院大	0.82	104 宮崎国際大	0.57
35 東北大	1.20	69 豊橋創造大	0.81	105 金沢学院大	0.56